

全国中小企業動向調査結果

(2020年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

(前回)足元で一部に弱さがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲44.4となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲44.8となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲27.5となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲44.4(-15.2)	▲44.8(-17.2)	▲27.5(-15.8)	▲34.7(-12.7)	▲13.2(-3.8)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

(前回)足元で弱さがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲24.6となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲21.9となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲20.3となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲24.6(-10.3)	▲21.9(-9.9)	▲20.3(-7.1)	▲5.5(-6.0)	7.6(-4.4)

<お問い合わせ先>

総合研究所 日本政策金融公庫 千100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4
 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691 (担当:星田、中谷)
 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703 (担当:藤原、藤井)
 大手町フィナンシャルシティノースタワー

目次

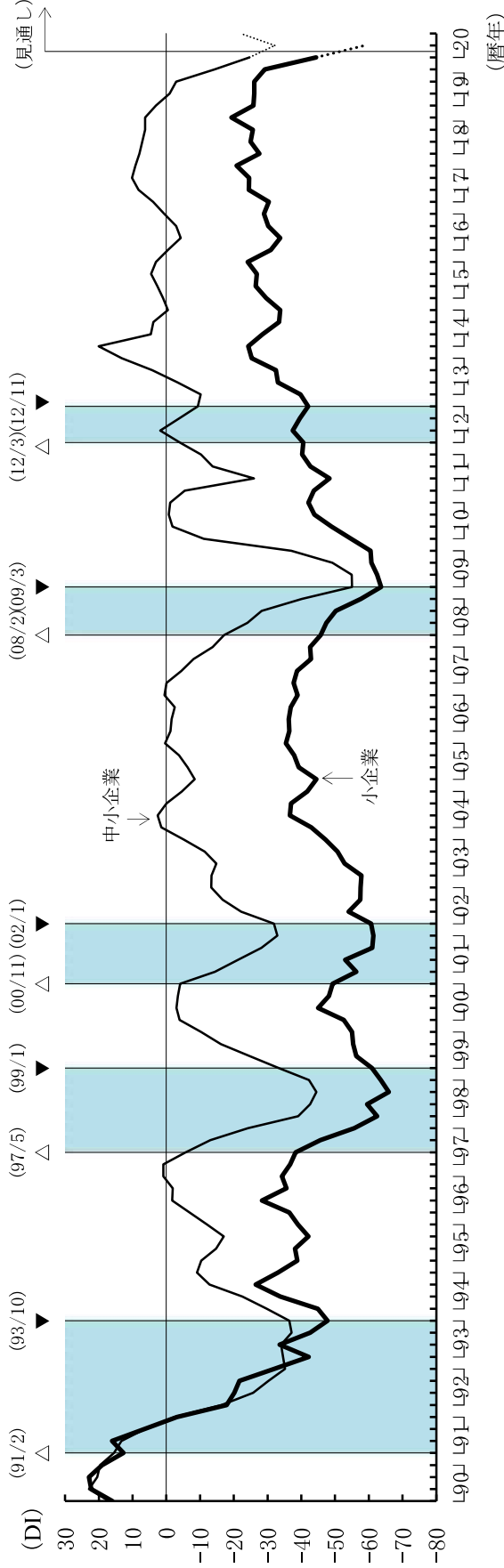
調査結果の概要	1
【小企業編】	
概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14
【中小企業編】	
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

①全業種計

	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	8.0	7.1	6.3	6.3	3.1	▲0.9	▲2.9	▲14.3	▲24.6	▲32.1	▲22.0
小企業	▲27.6	▲24.9	▲25.6	▲19.3	▲25.8	▲26.0	▲26.0	▲29.2	▲44.4	▲58.9	-

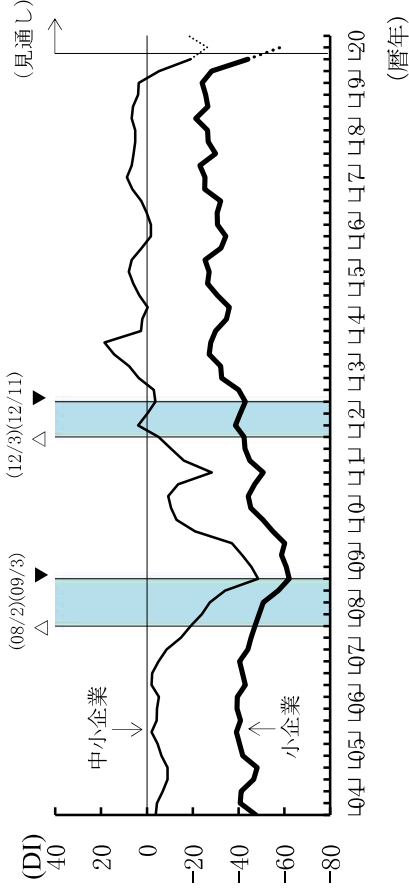
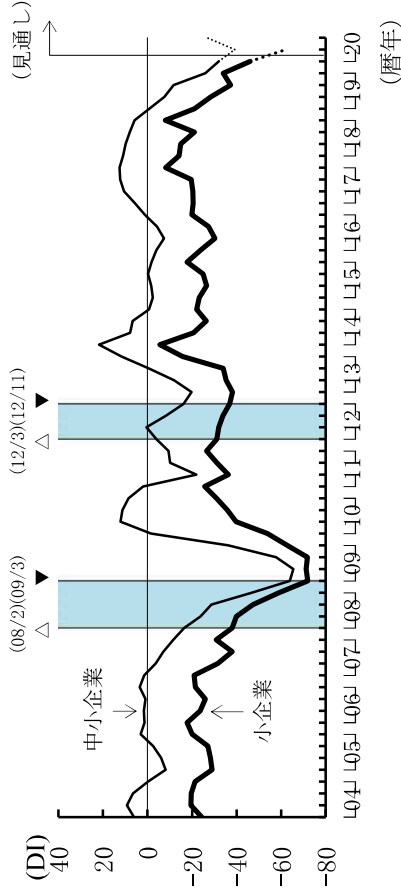


②製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	▲11.7	▲25.9	▲31.9	▲39.2	▲26.7
小企業	▲37.2	▲33.9	▲46.0	▲62.1	-

③非製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	3.6	▲5.4	▲19.0	▲26.3	▲18.2
小企業	▲24.1	▲28.4	▲44.1	▲58.3	-

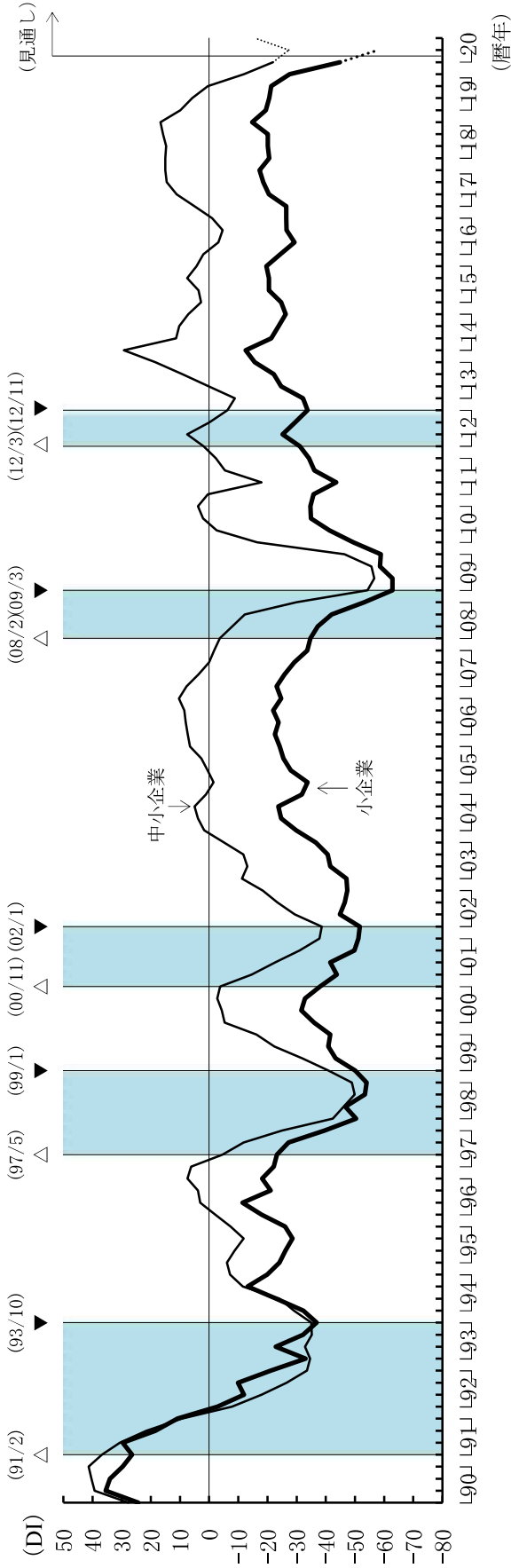


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

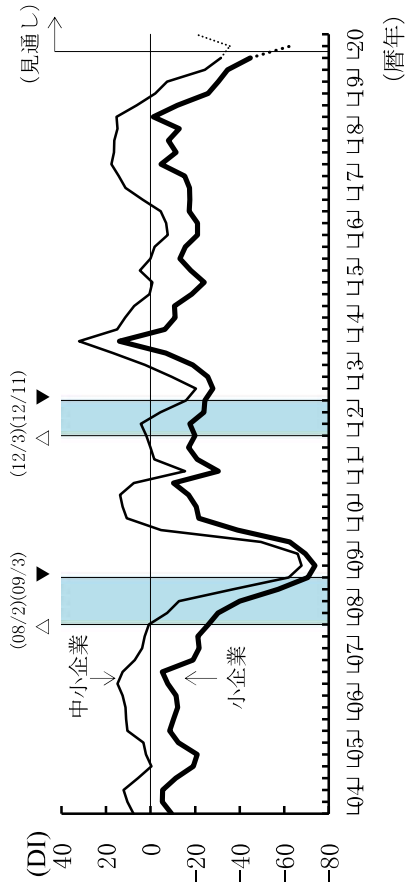
① 全業種計

	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	15.0	14.7	15.8	16.7	9.9	5.8	0.4	▲ 12.0	▲ 21.9	▲ 27.3	▲ 15.7
小企業	▲ 20.6	▲ 20.1	▲ 20.1	▲ 14.8	▲ 19.4	▲ 20.6	▲ 21.3	▲ 27.6	▲ 44.8	▲ 58.0	-



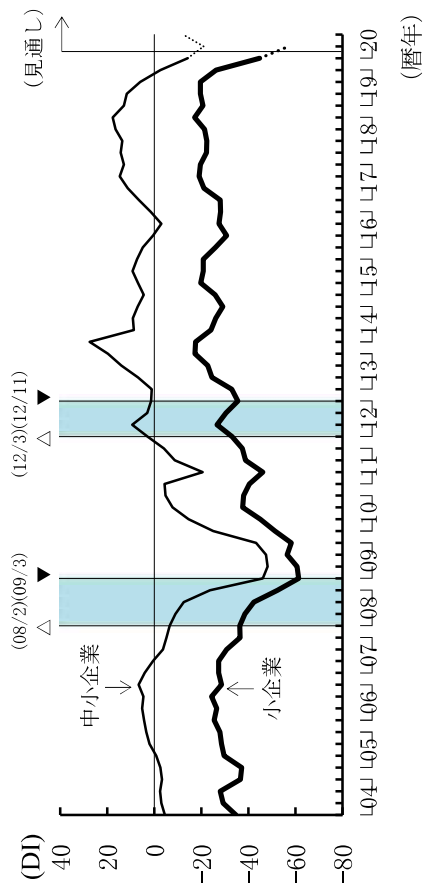
② 製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	▲ 7.4	▲ 24.4	▲ 31.5	見通し	見通し
小企業	▲ 30.4	▲ 34.5	▲ 44.8	▲ 57.2	-



③ 非製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	▲ 5.9	▲ 2.7	▲ 14.2	▲ 21.0	▲ 12.3
小企業	▲ 19.7	▲ 26.3	▲ 44.8	▲ 57.2	-



(注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小 企 業 編

(2020年1－3月期実績、4－6月期見通し)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により
大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

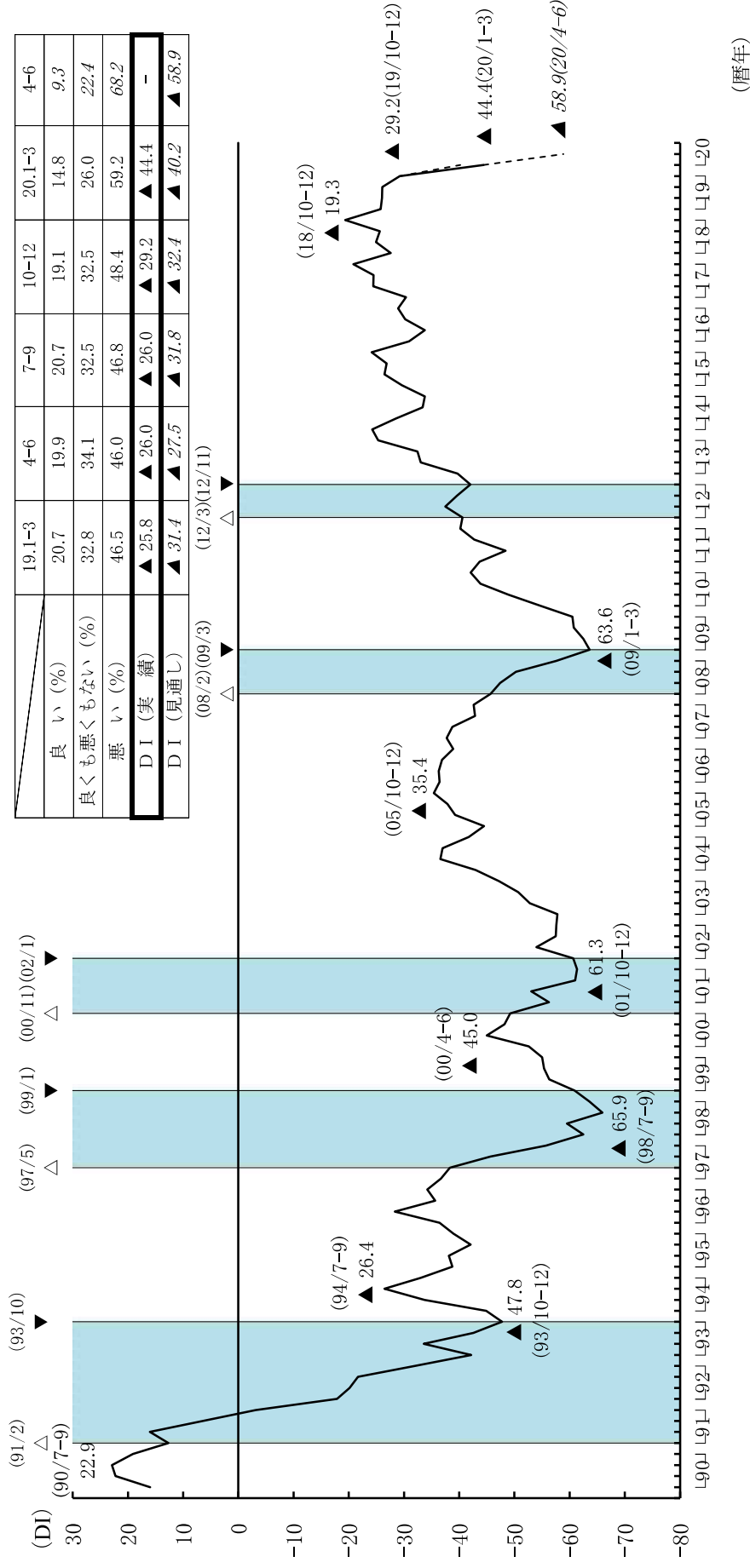
[調査の実施要領]

調査時点	2020年3月中旬		
調査対象	当公庫取引先 10,000 企業		
有効回答数	6,507 企業 [回答率 65.1 %]		
＜業種構成＞			
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	1,000 企業 (構成比 15.4 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	(同 9.4 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	(同 23.3 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	(同 15.6 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	(同 20.3 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	(同 1.3 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	(同 12.3 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	(同 2.4 %)
(参考)			
		法人	4,348 企業 (構成比 66.8 %)
		個人	2,159 企業 (同 33.2 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2019年10-12月期）からマイナス幅が15.2ポイント拡大し、▲44.4となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲58.9となる見通しである。

図一 1 業況判断DIの推移（全業種計）



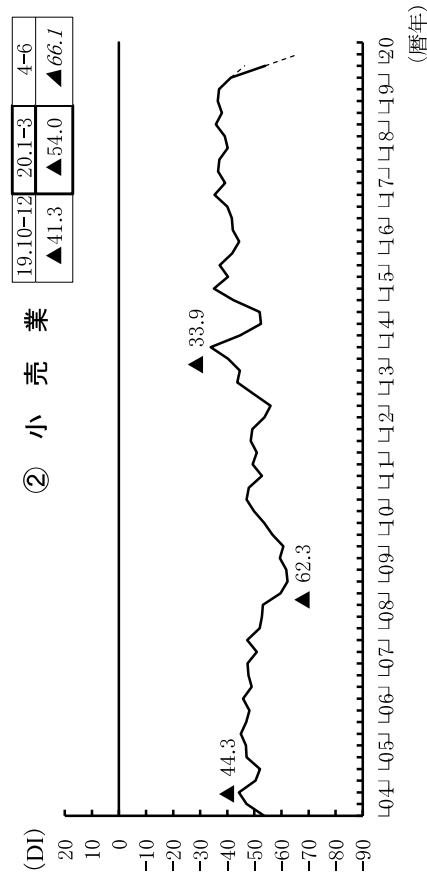
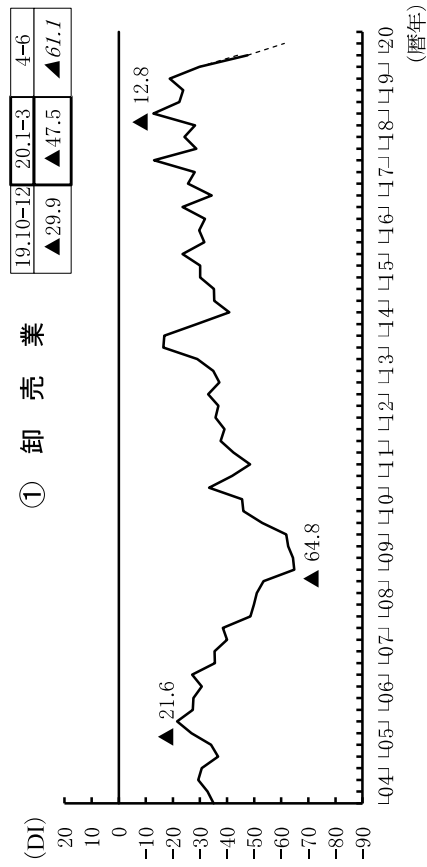
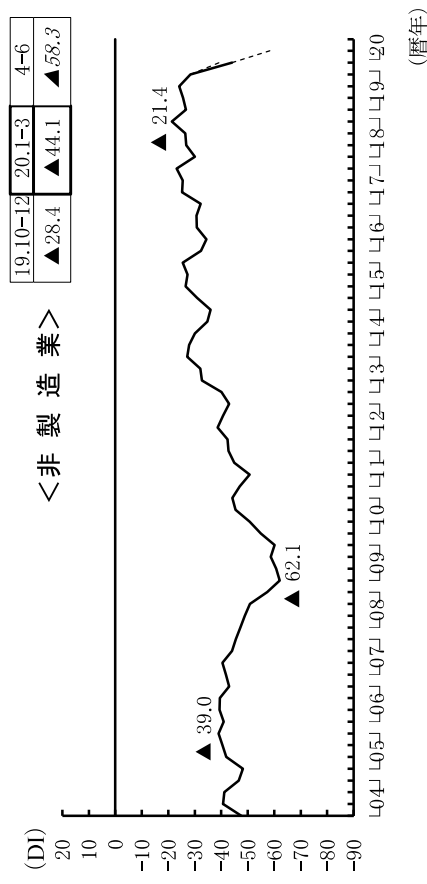
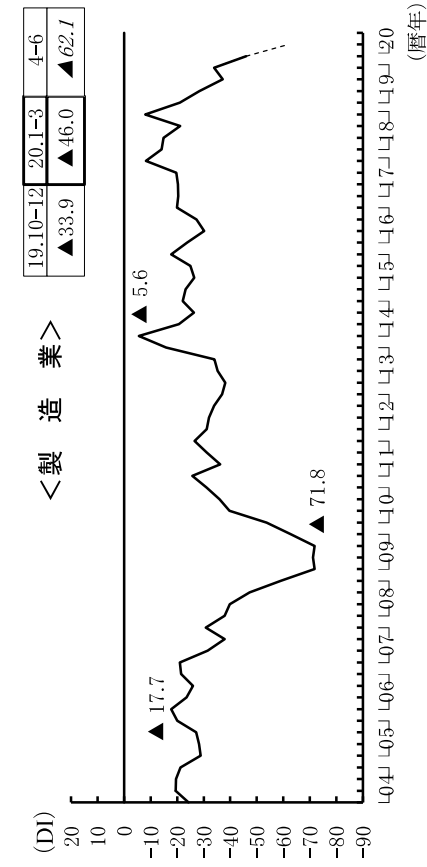
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

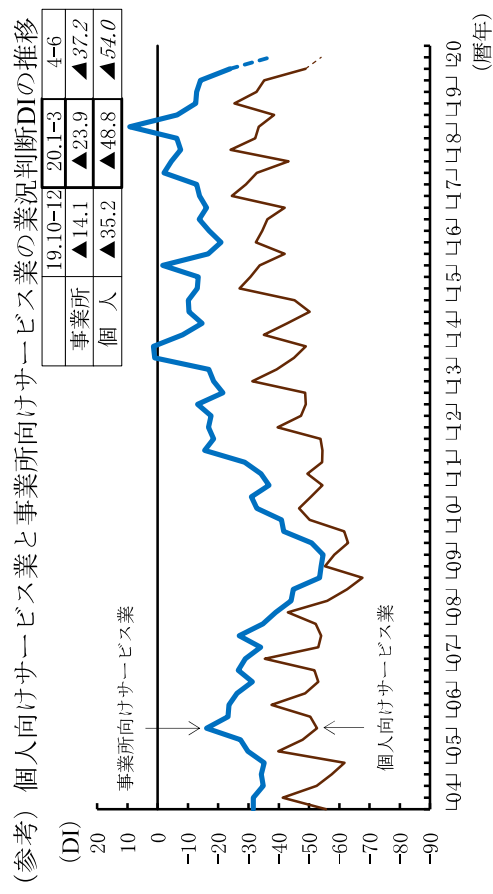
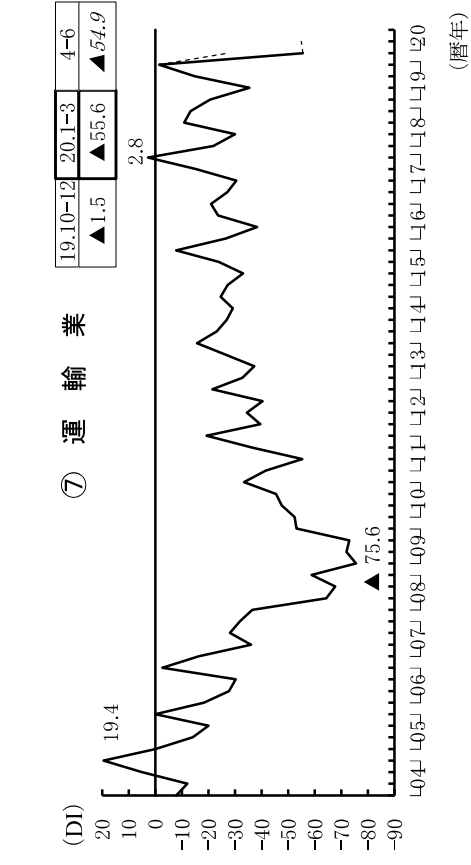
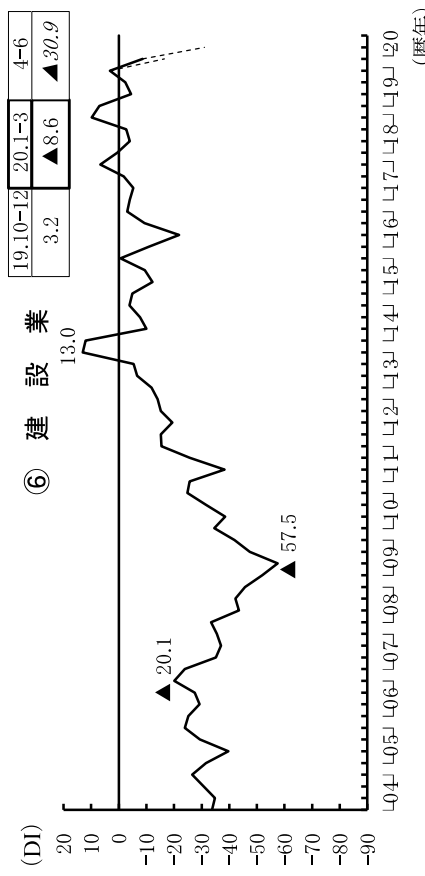
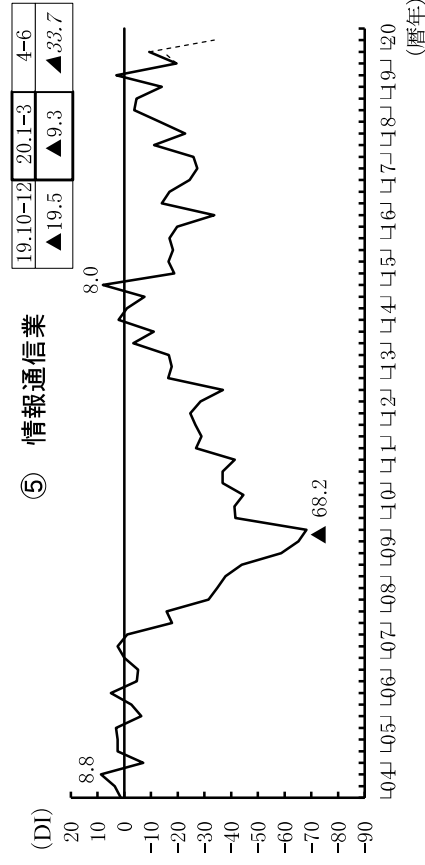
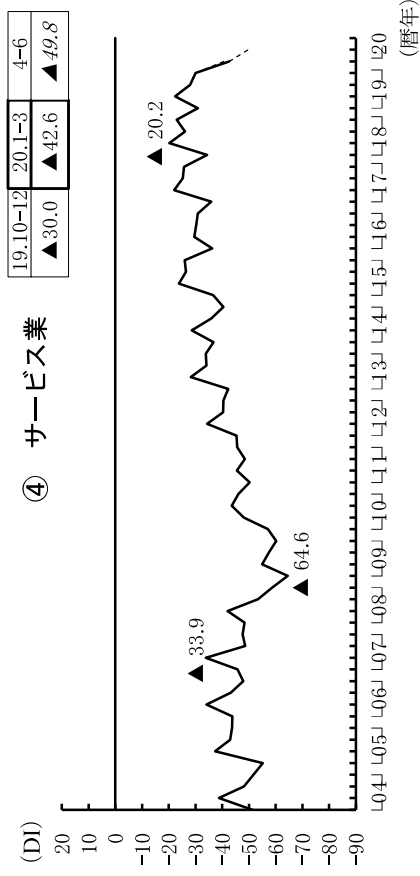
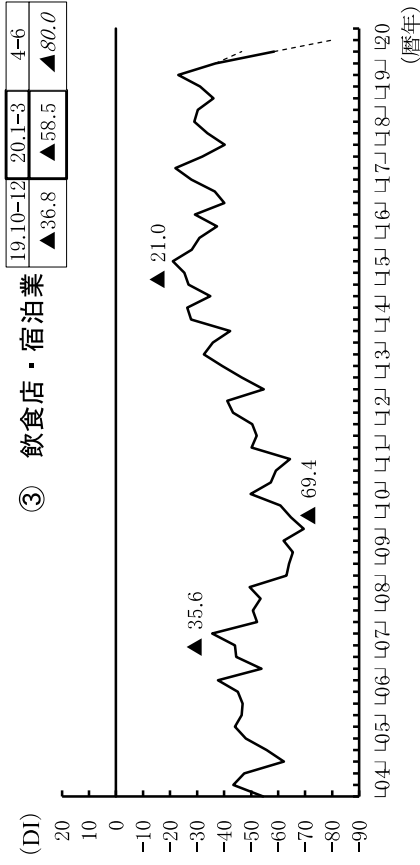
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲46.0）、非製造業（▲44.1）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業を除く全ての業種で低下した。

○ 来期も、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

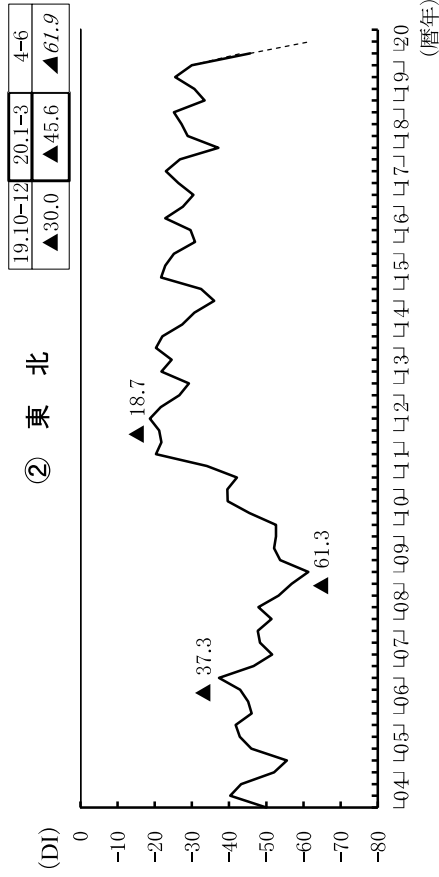
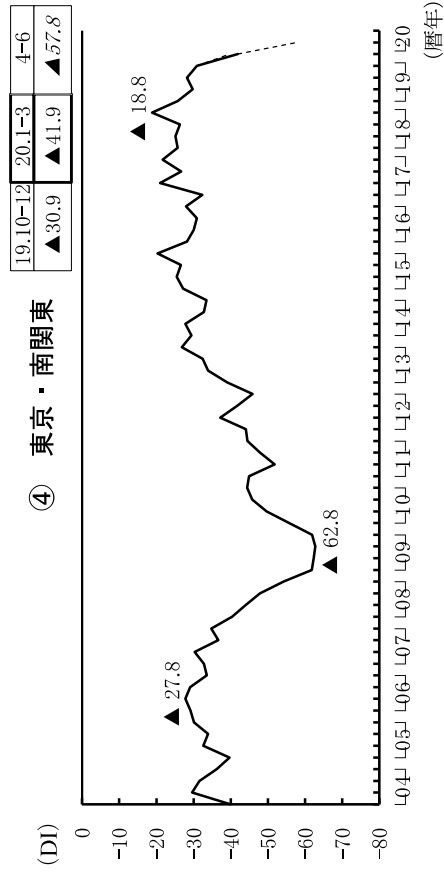
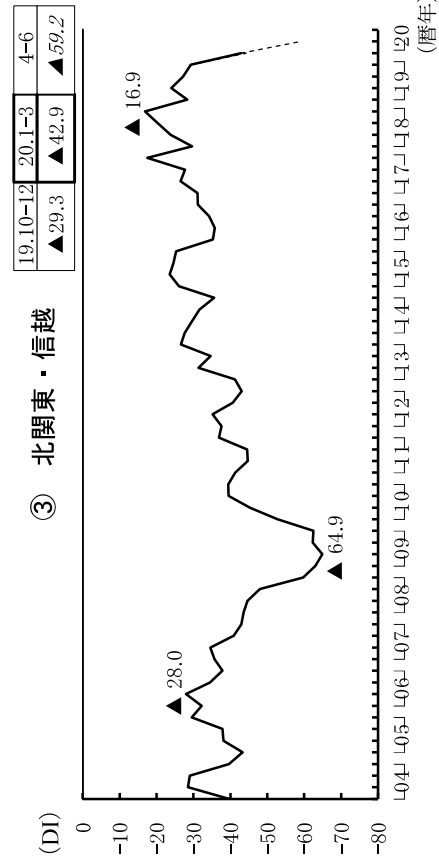
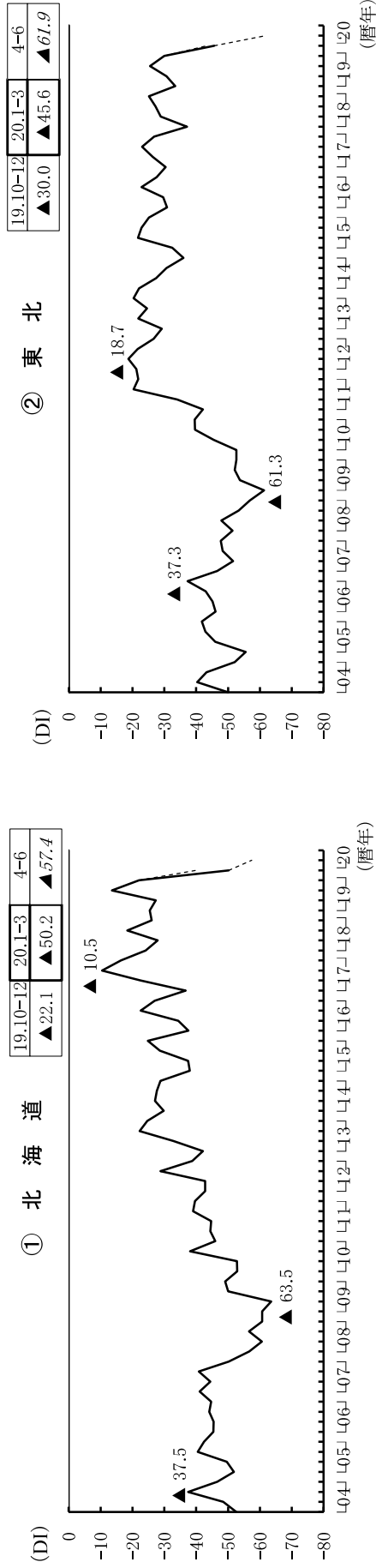
図一 2 業種別業況判断DIの推移

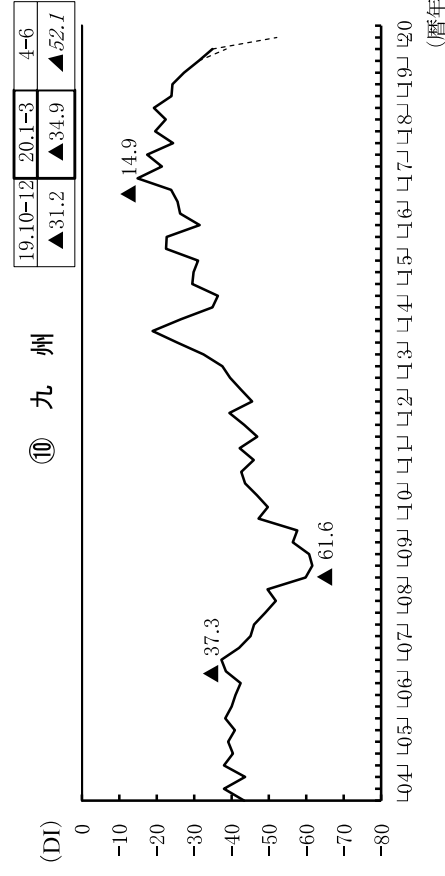
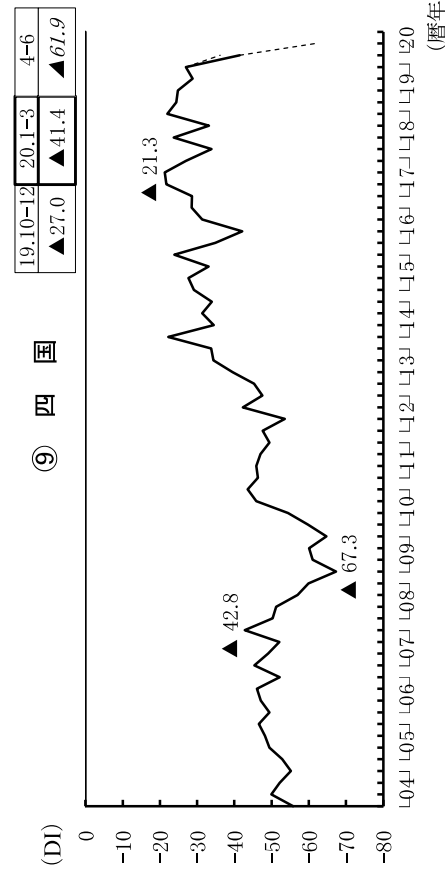
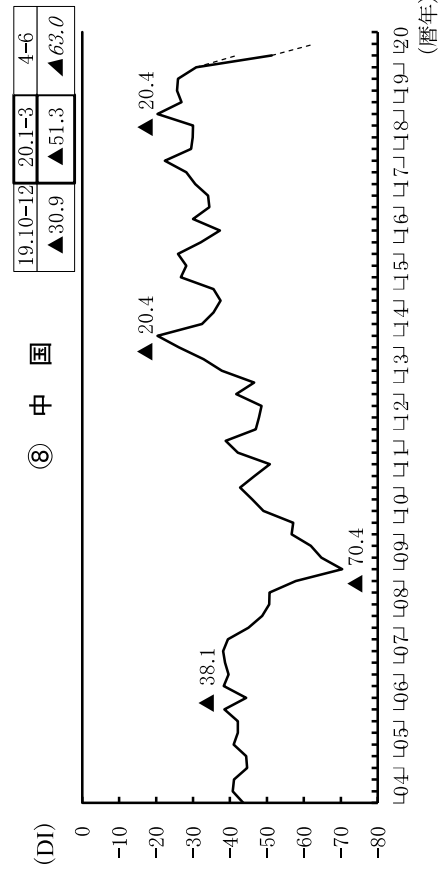
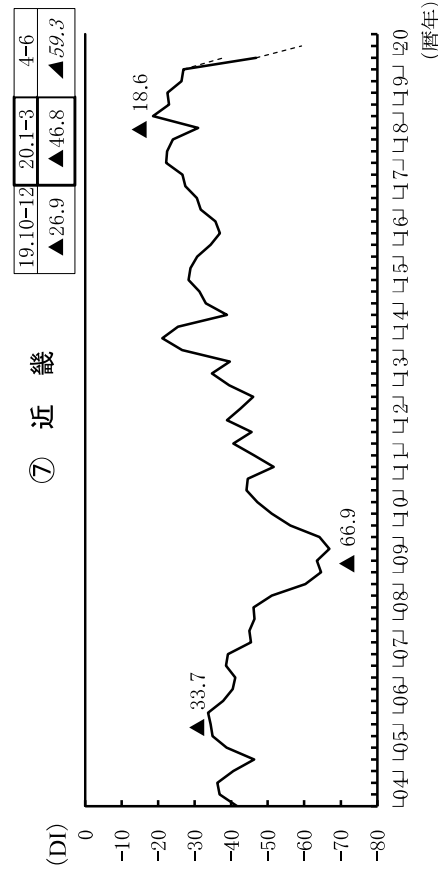
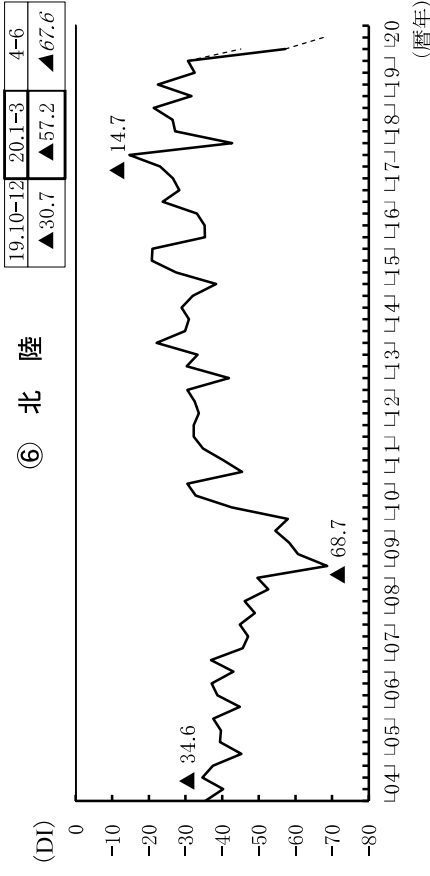
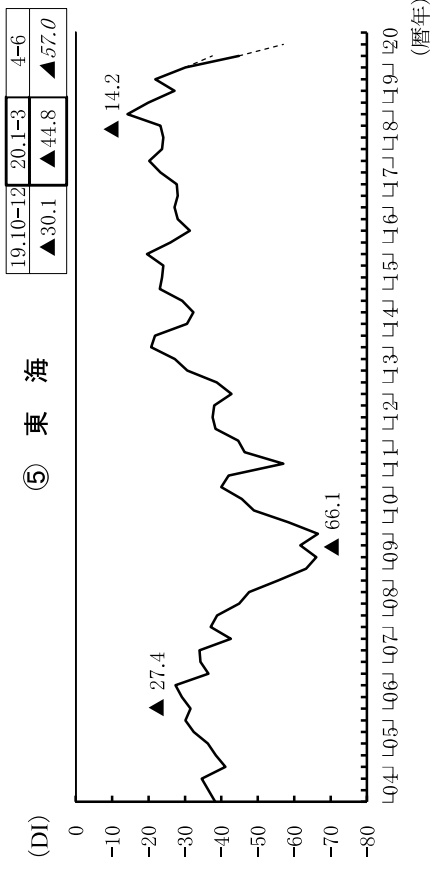




- 業況判断DIを地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期も、全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図一3 地域別業況判断DIの推移



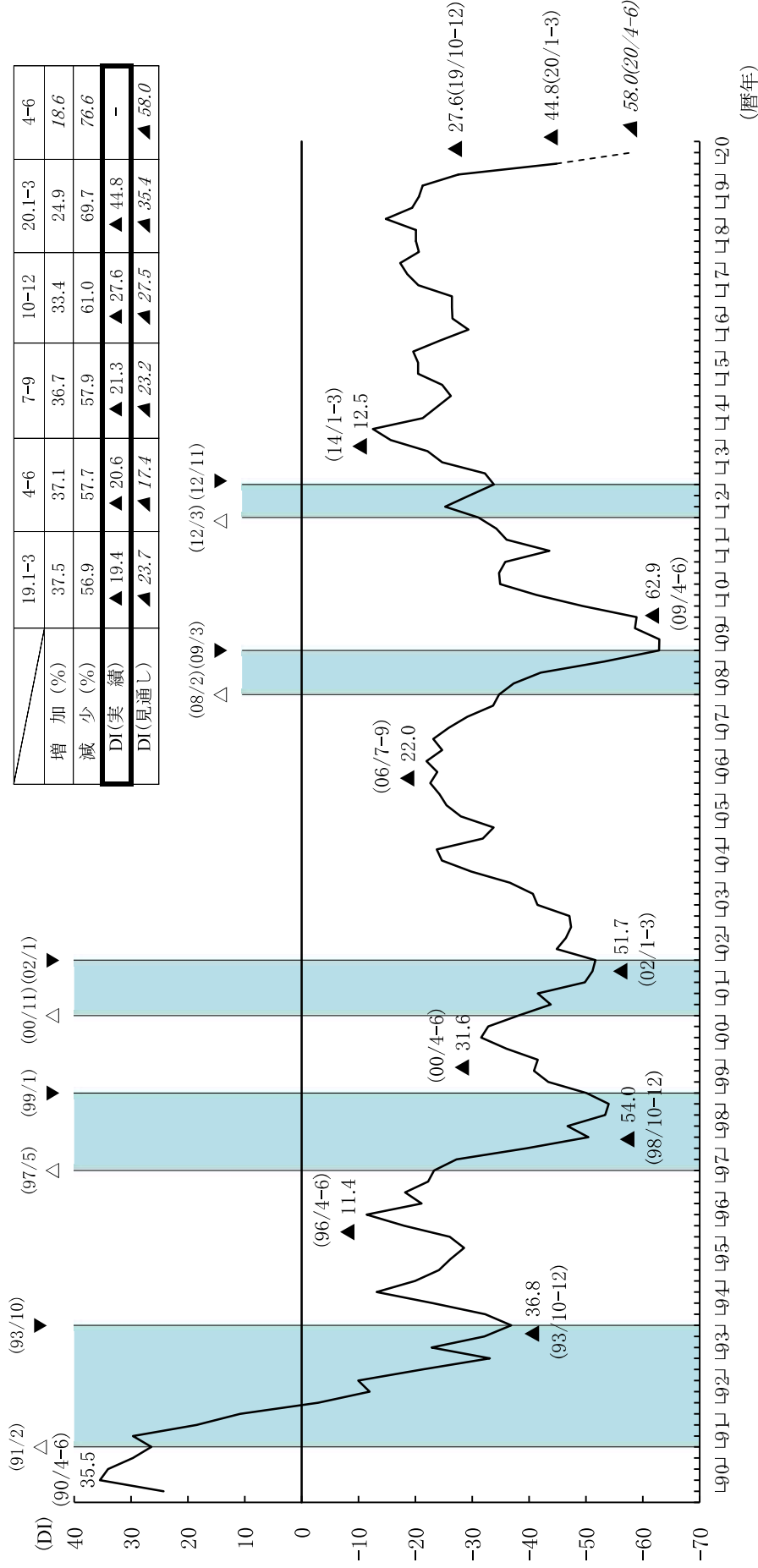


2 売上

○ 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が17.2ポイント拡大し、▲44.8となった。

○ 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図一4 売上DIの推移 (全業種計)



(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

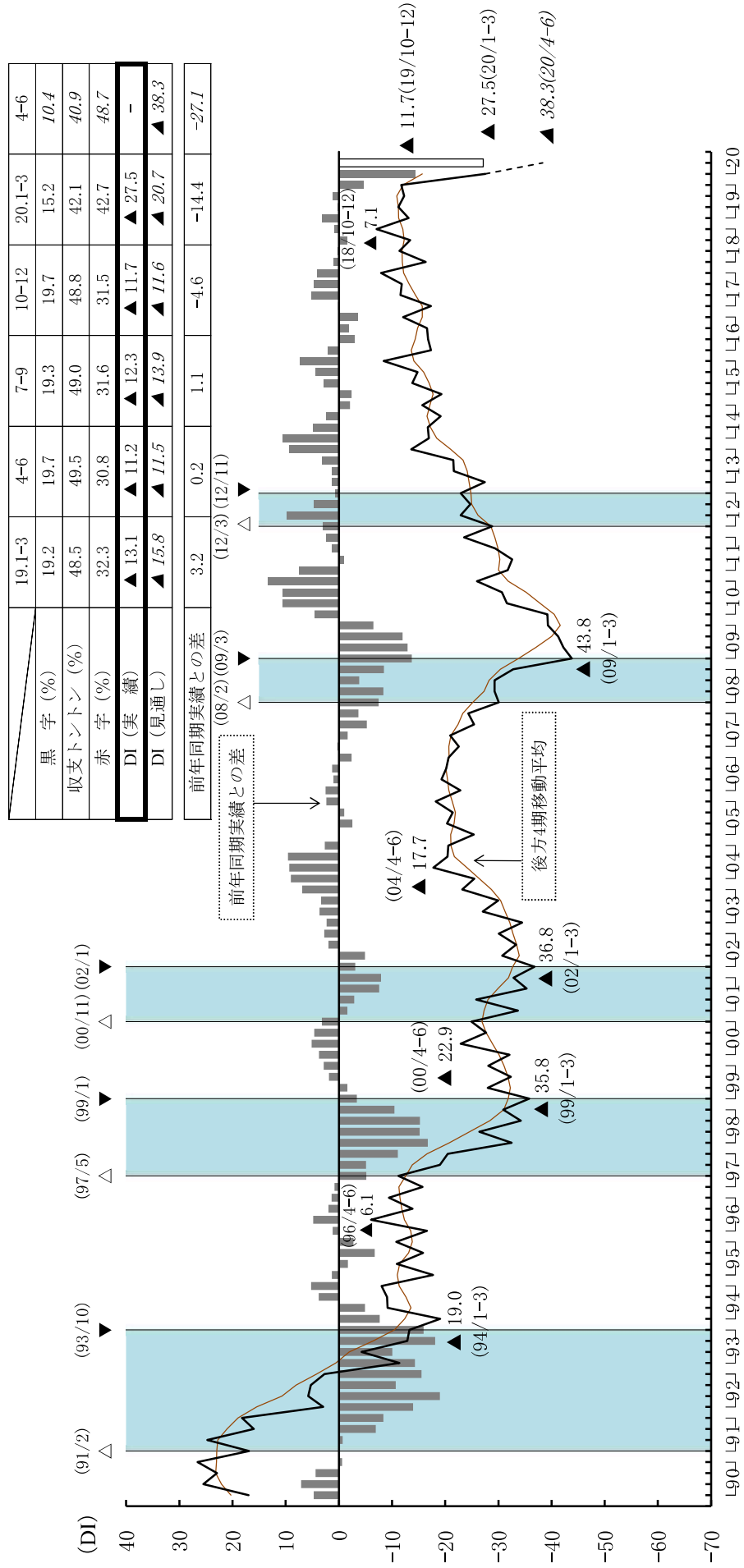
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

○ 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が15.8ポイント拡大し、▲27.5となった。

○ 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-5 採算DIの推移 (全業種計)



(注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。

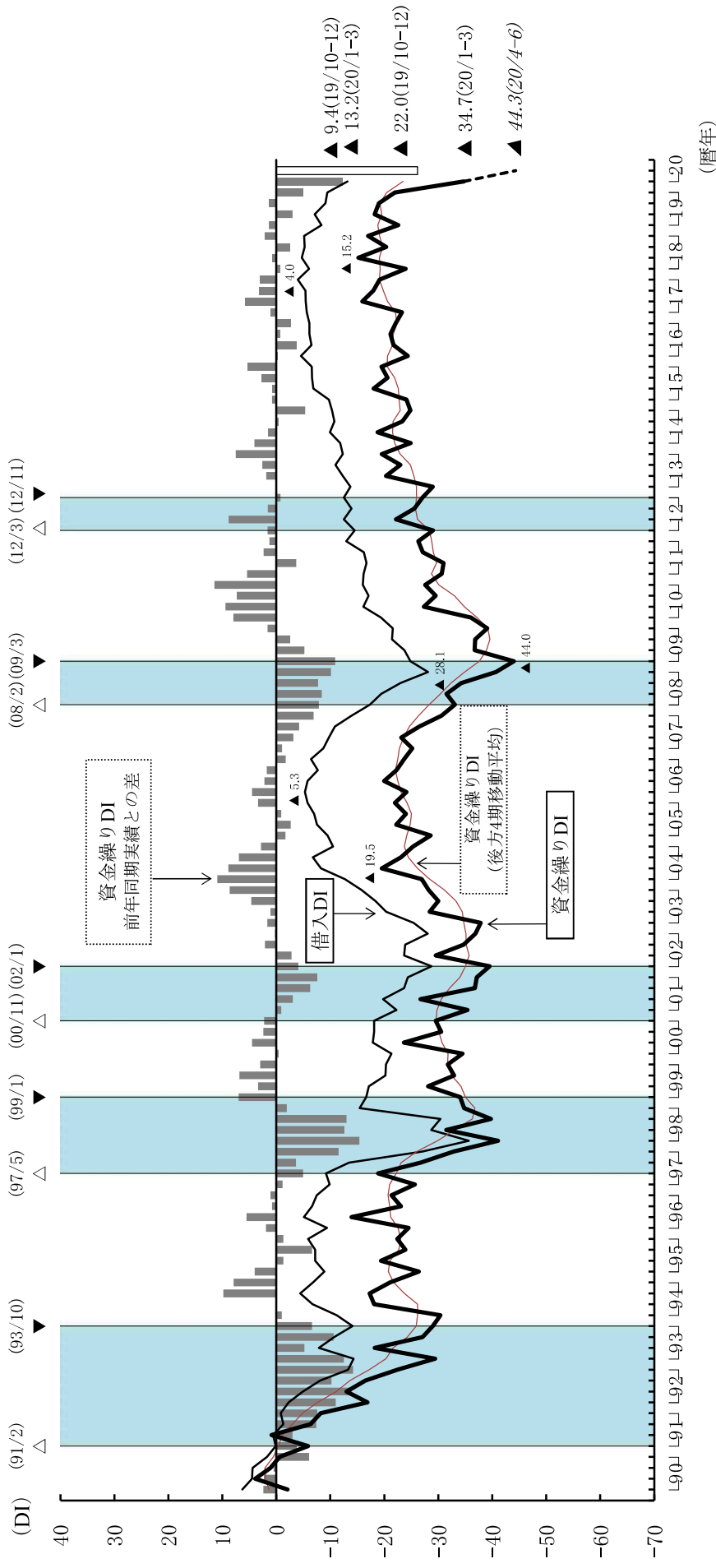
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が12.7ポイント拡大し、▲34.7となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が3.8ポイント拡大し、▲13.2となった。

図一6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

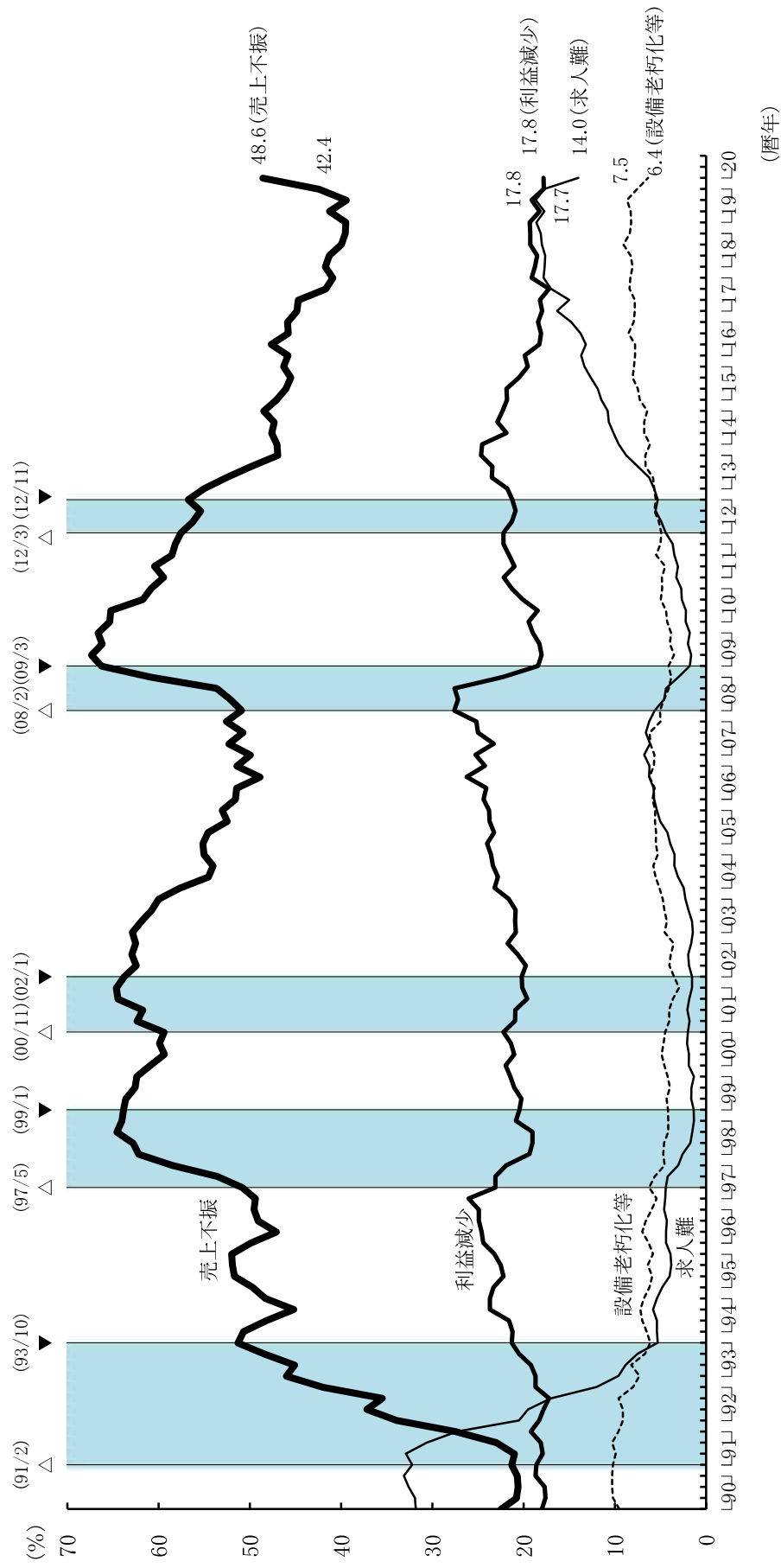


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が48.6%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（17.8%）、「求人難」（14.0%）の順となっている。

図一七 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

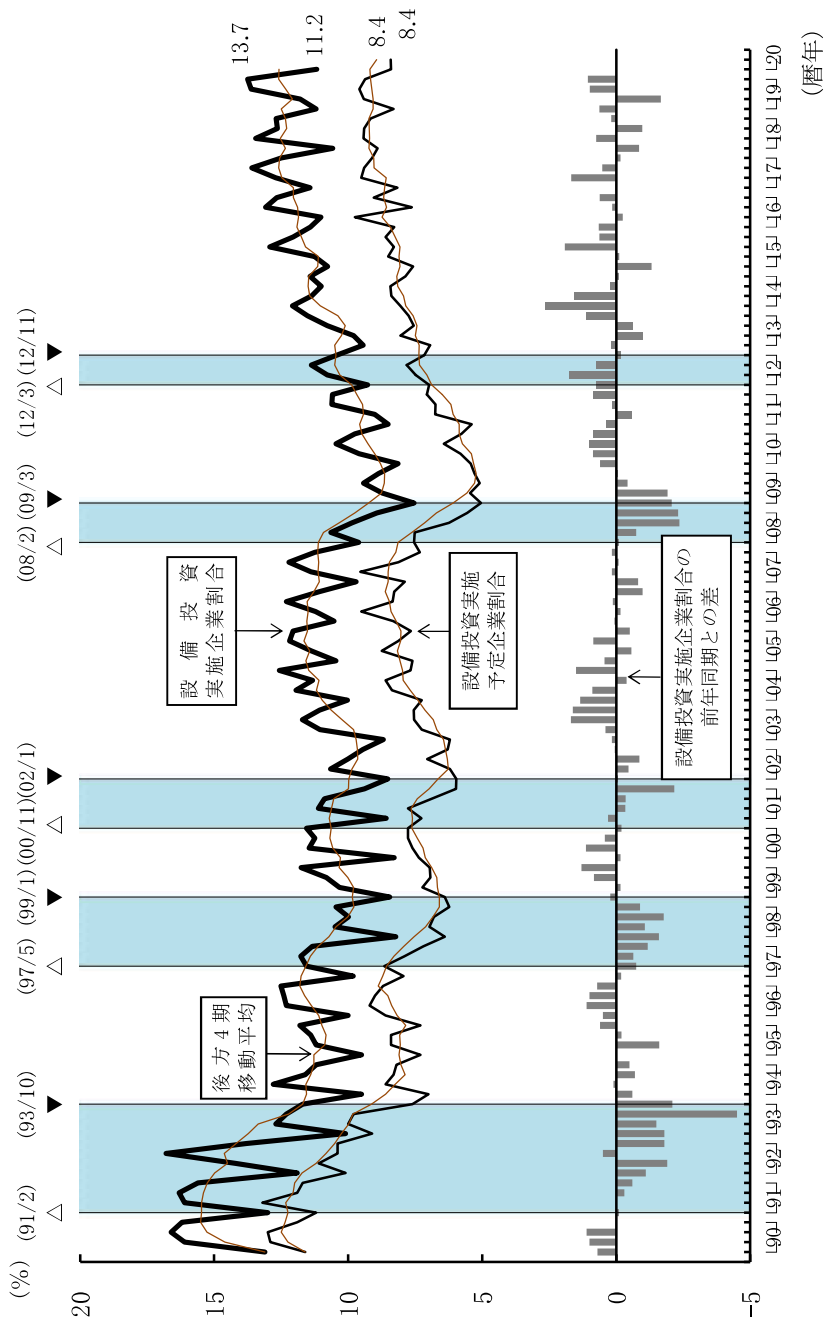


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

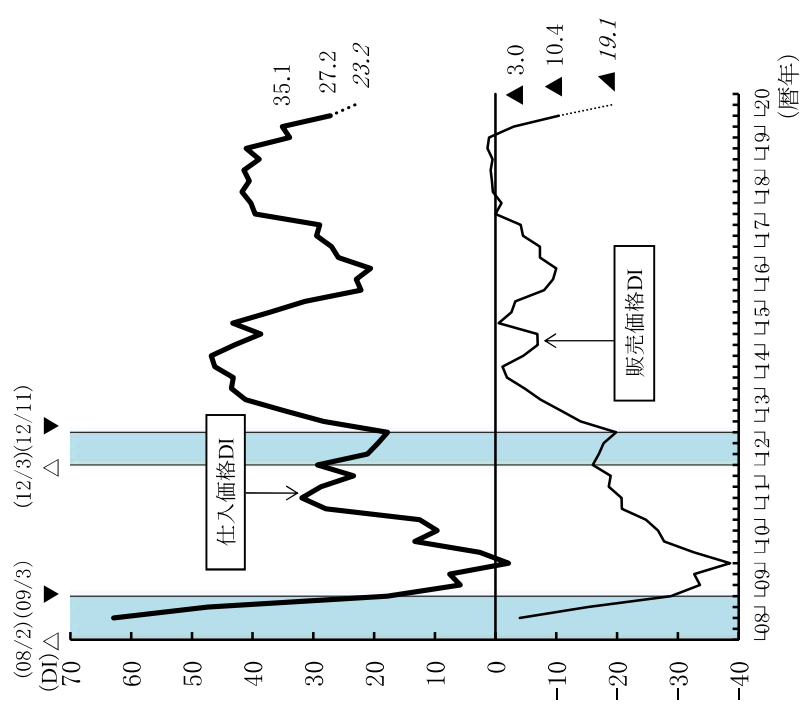
6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.5ポイント低下し、11.2%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、マイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲10.4となった。来期もマイナス幅が拡大する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、7.9ポイント低下し、27.2となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7～9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2020年1－3月期実績、4－6月期および7－9月期見通し)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

[調査の実施要領]

調査時点 2020年3月中旬
 調査対象 当公庫取引先 (原則従業員20人以上) 12,587社
 有効回答数 5,811社 [回答率46.2%]

<業種構成>

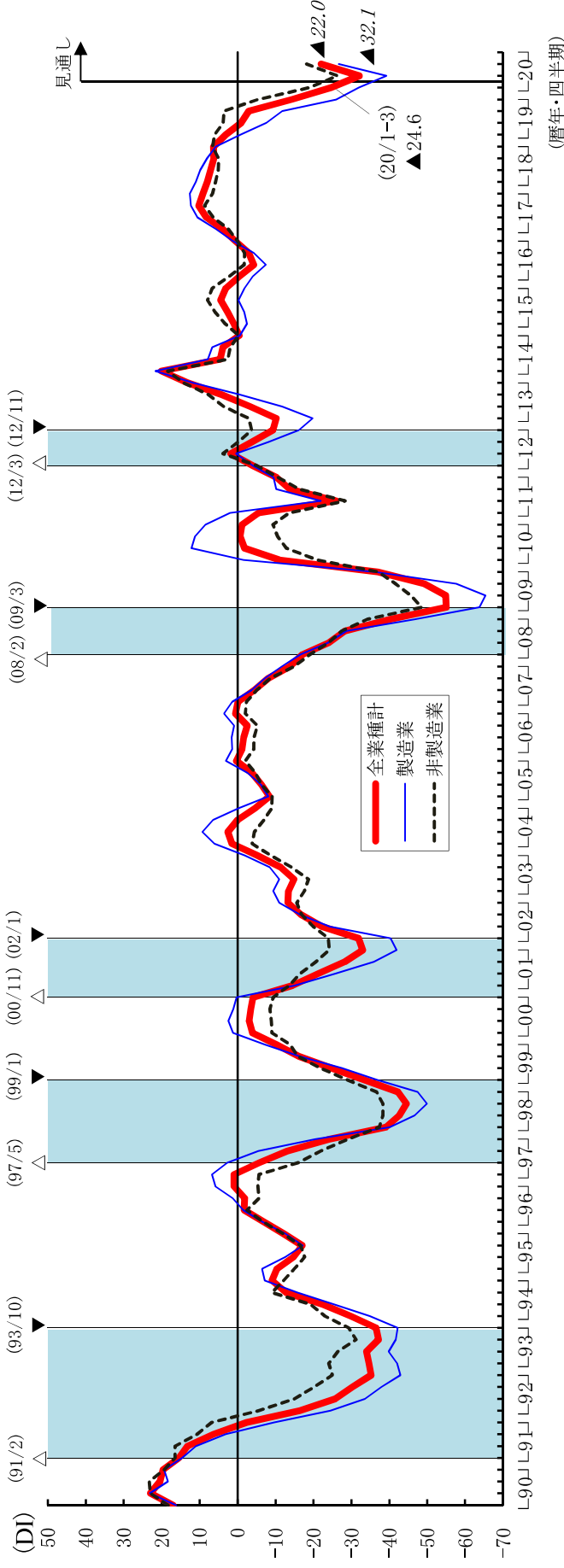
業種	調査対象数	有効回答数	(構成比)
製造業	5,138社	2,532社	43.6%
鉱業	14社	9社	0.2%
建設業	1,022社	510社	8.8%
運送業(除水運)	763社	377社	6.5%
水運業	173社	74社	1.3%
倉庫業	67社	36社	0.6%
情報通信業	276社	103社	1.8%
ガス供給業	12社	7社	0.1%
不動産業	805社	327社	5.6%
宿泊・飲食サービス業	483社	168社	2.9%
卸売業	1,657社	771社	13.3%
小売業	908社	370社	6.4%
サービス業	1,269社	527社	9.1%

1 業況判断

- 今期（2020年1-3月期）の業況判断DIは、前期（2019年10-12月期）からマイナス幅が10.3ポイント拡大し、▲24.6となった。
- 来期（2020年4-6月期）は▲32.1にマイナス幅が拡大し、来々期（2020年7-9月期）は▲22.0となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9
業況判断DI（季節調整値）	3.1	▲0.9	▲2.9	▲14.3	▲24.6（▲9.2）	▲32.1（▲4.6）	▲22.0
製造業	▲0.8	▲7.6	▲11.7	▲25.9	▲31.9（▲16.9）	▲39.2（▲8.7）	▲26.7
非製造業	6.0	3.8	3.6	▲5.4	▲19.0（▲3.5）	▲26.3（▲1.3）	▲18.2

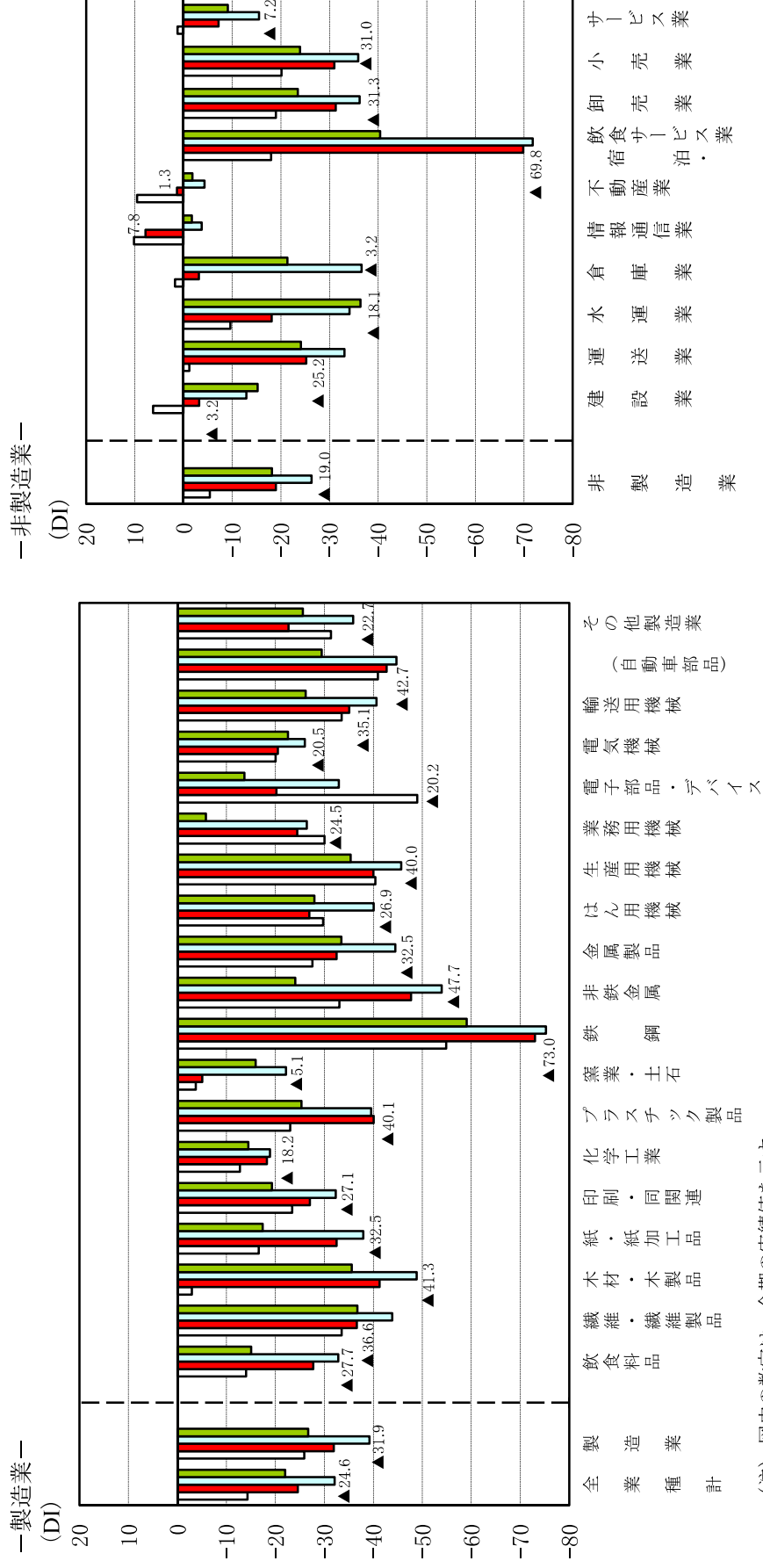
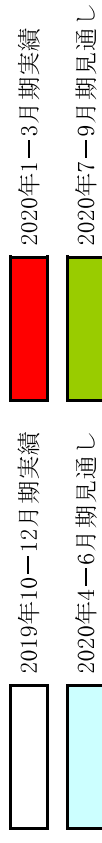


(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

○ 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、電子部品・デバイス、業務用機械、はん用機械等で上昇した。
 一方、木材・木製品、鉄鋼、鉄鋼製品等が低下した。

○ 非製造業は、全業種において低下した。

図-2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

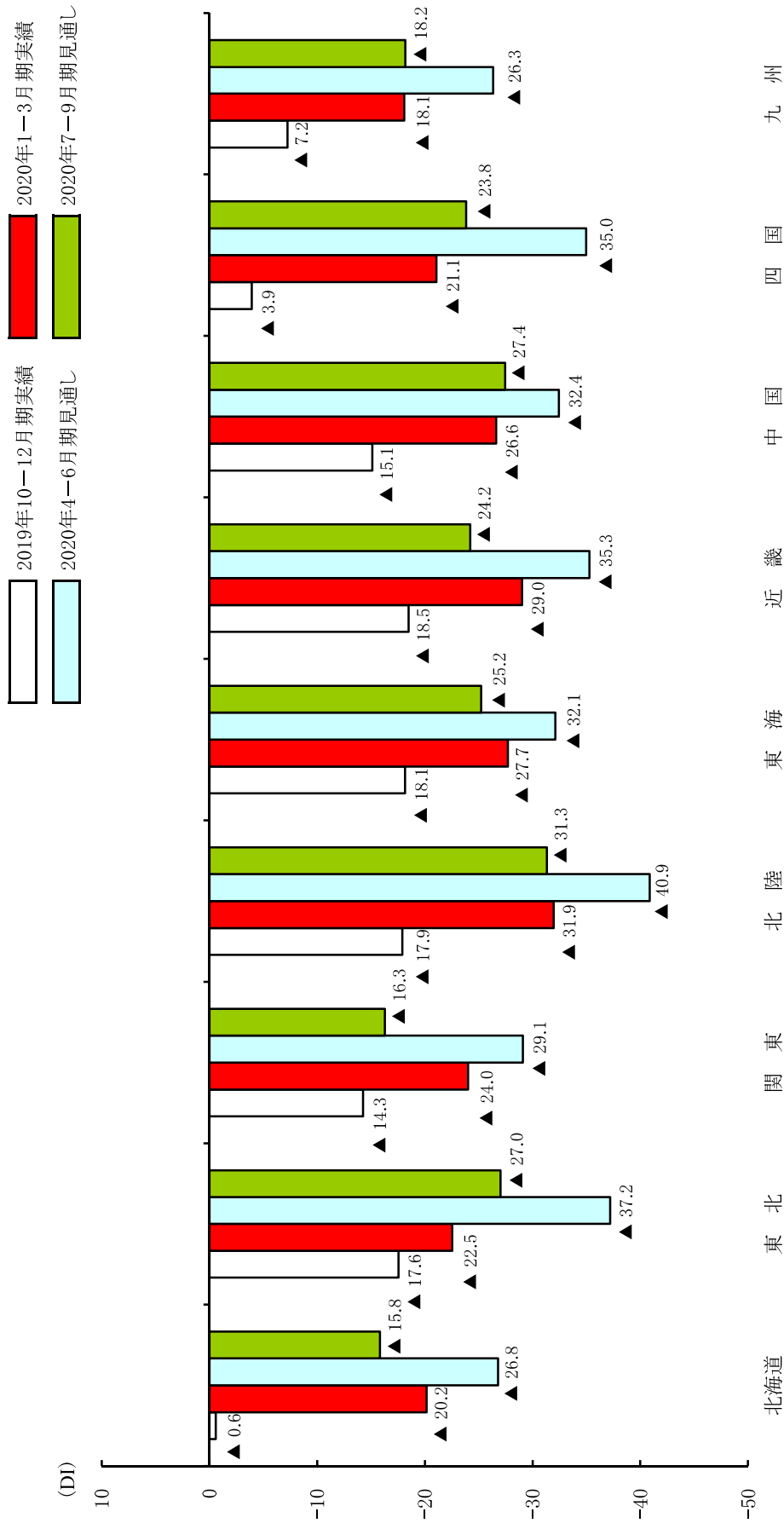


(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

○ 業況判断DIを地域別にみると、今期はすべての地域でマイナス幅が拡大した。

○ 来期もすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図一3 地域別業況判断DI (季節調整値)

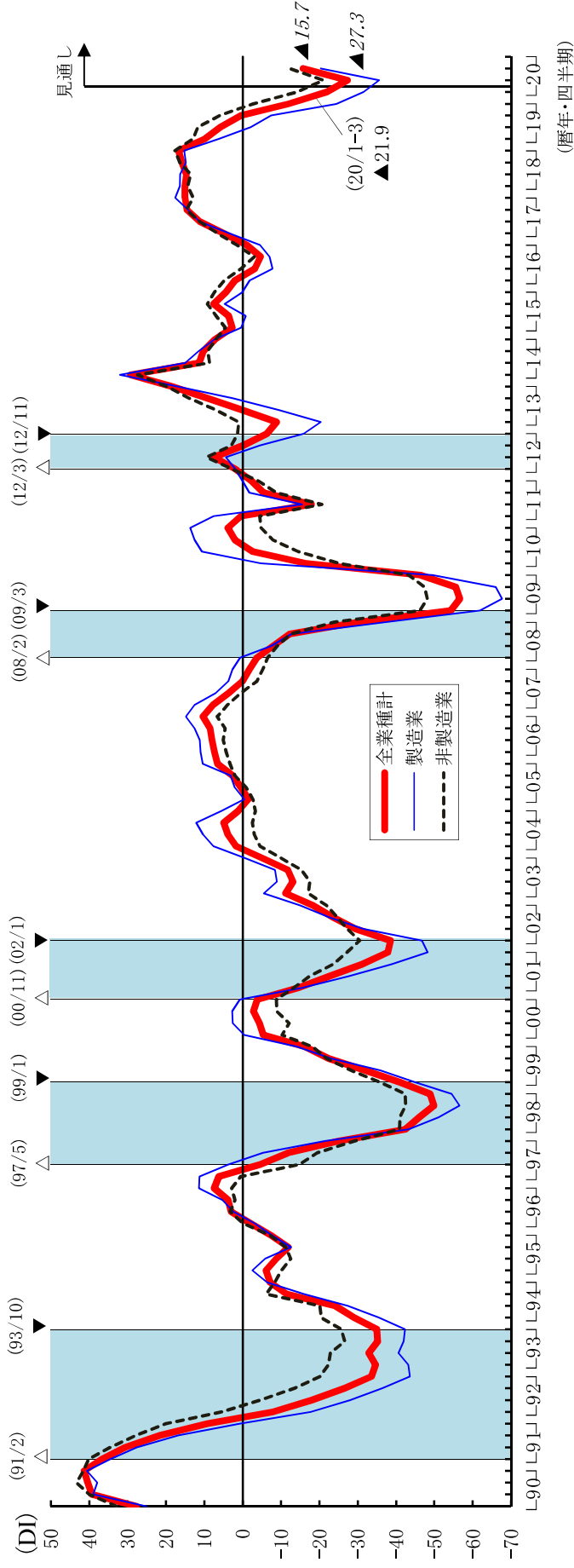


2 売上

- 今期の売上DIは、前期からマイナス幅が9.9ポイント拡大し、▲21.9となった。
- 来期は▲27.3とマイナス幅が拡大し、来々期は▲15.7となる見通しである。

図-4 売上DIの推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9
売上DI (季節調整値)	9.9	5.8	0.4	▲12.0	▲21.9 (▲2.8)	▲27.3 (▲3.1)	▲15.7
製造業	6.2	▲2.1	▲7.4	▲24.4	▲31.5 (▲11.7)	▲35.5 (▲0.5)	▲20.4
非製造業	12.9	11.7	5.9	▲2.7	▲14.2 (▲4.2)	▲21.0 (▲6.1)	▲12.3



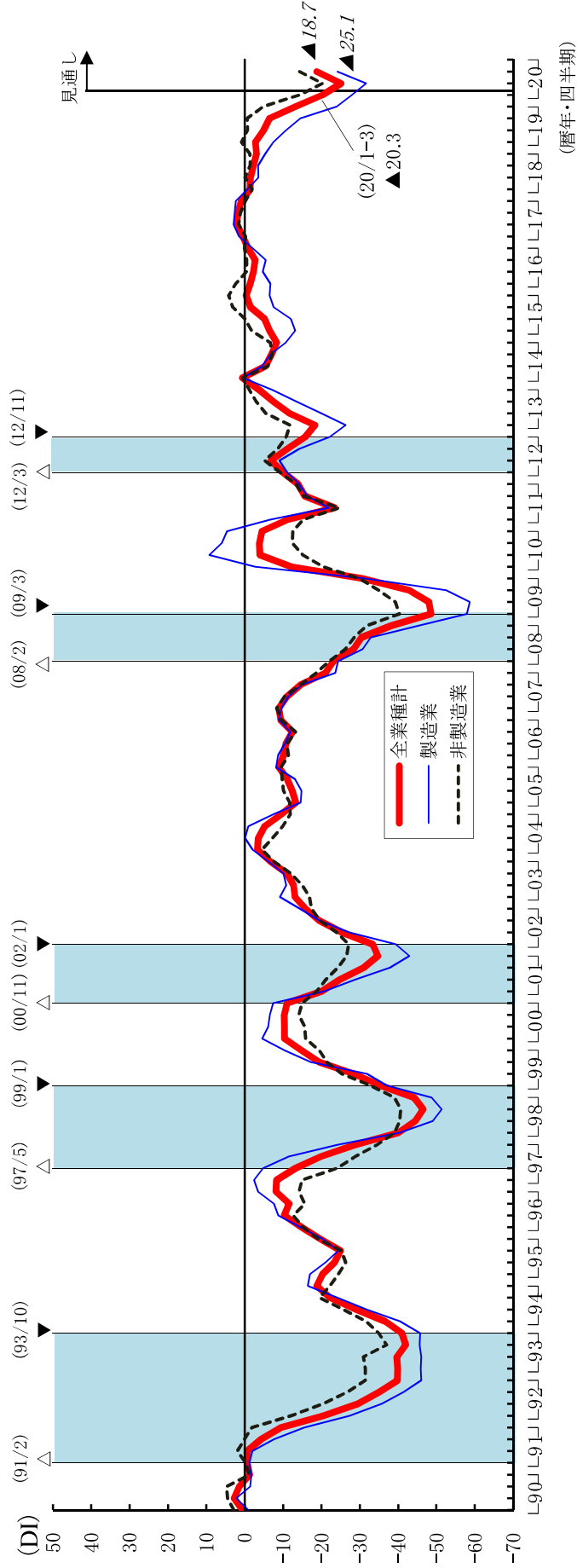
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が7.1ポイント拡大し、▲20.3となった。
- 来期は▲25.1とマイナス幅が拡大し、来々期は▲18.7となる見通しである。

図-5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 2.7	▲ 4.9	▲ 6.4	▲ 13.2	▲ 20.3 (▲ 10.3)	▲ 25.1 (▲ 6.7)	▲ 18.7
製造業	▲ 7.4	▲ 10.7	▲ 14.5	▲ 24.0	▲ 27.9 (▲ 18.7)	▲ 31.6 (▲ 11.4)	▲ 24.2
非製造業	0.9	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 4.9	▲ 14.2 (▲ 3.5)	▲ 20.2 (▲ 3.1)	▲ 14.3



(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合一「低下」企業割合（季節調整値）。

2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

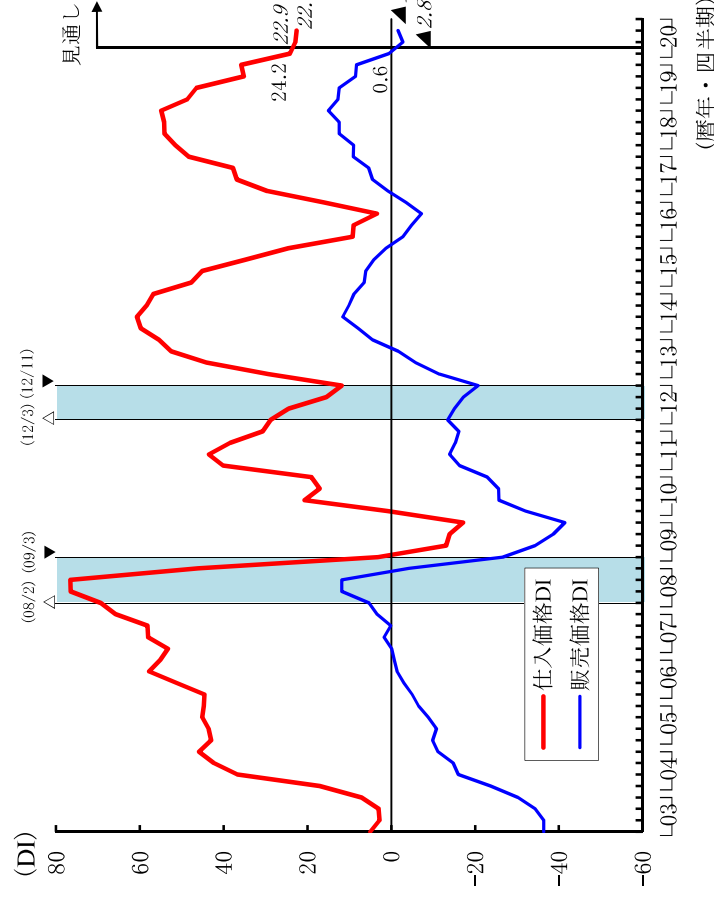
4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から7.7ポイント低下し、0.6となった。来期は販売価格DI、仕入価格DIともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは低下した。

図一6 価格関連DIの推移 (原数値)

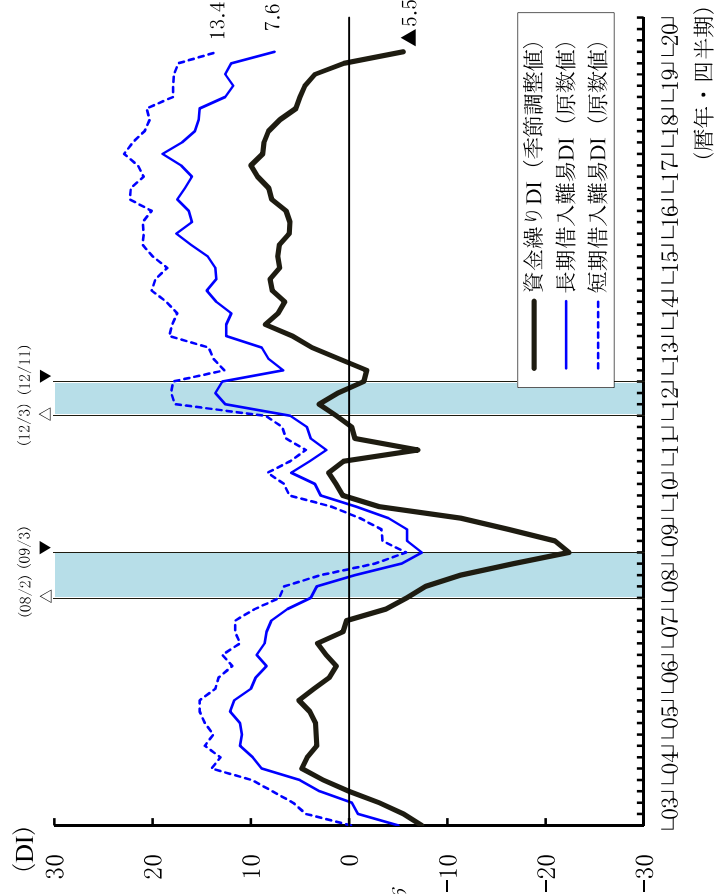
	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9
販売価格DI	12.7	12.4	8.5	8.3	0.6	▲2.8	▲1.6
仕入価格DI	48.7	46.5	35.2	35.8	24.2	22.9	22.6

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3
資金繰りDI (季節調整値)	5.0	4.5	3.5	0.5	▲5.5
長期借入難易DI (原数値)	12.6	11.8	12.6	12.0	7.6
短期借入難易DI (原数値)	17.9	17.9	17.8	17.4	13.4



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合ー「低下」企業割合 (原数値)。
2 図中の数字は今期実績および見通し (斜体) の値を示す。

図一7 金融関連DIの推移



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合ー「悪化」企業割合 (季節調整値)。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合ー「困難」企業割合 (原数値)。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

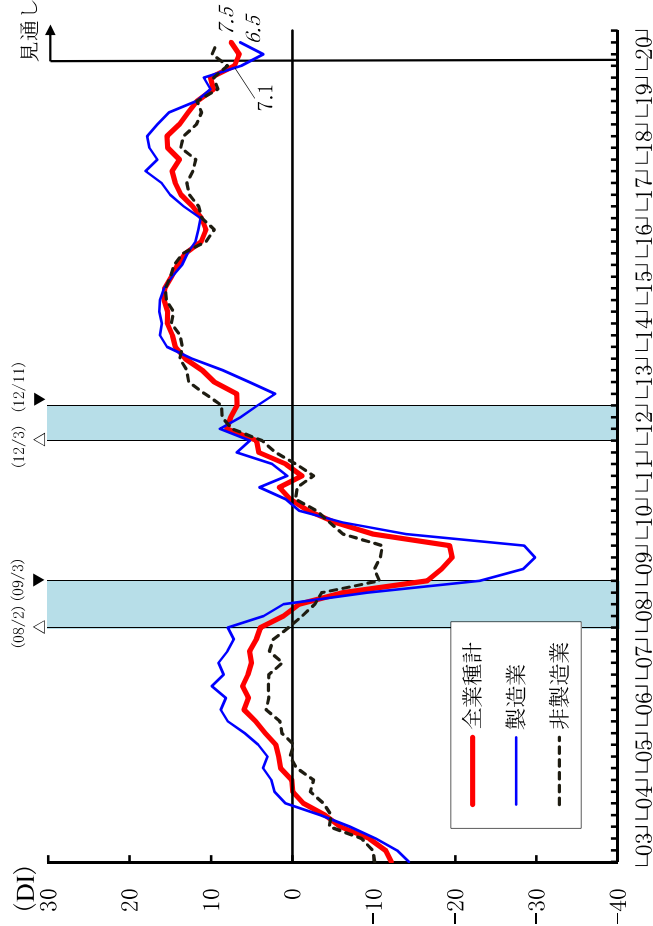
- 今期の従業員DIは、前期から3.0ポイント低下し、7.1となった。来期も低下する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から4.5ポイント低下し、35.3%となった。

図一8 従業員DIの推移（季節調整値）

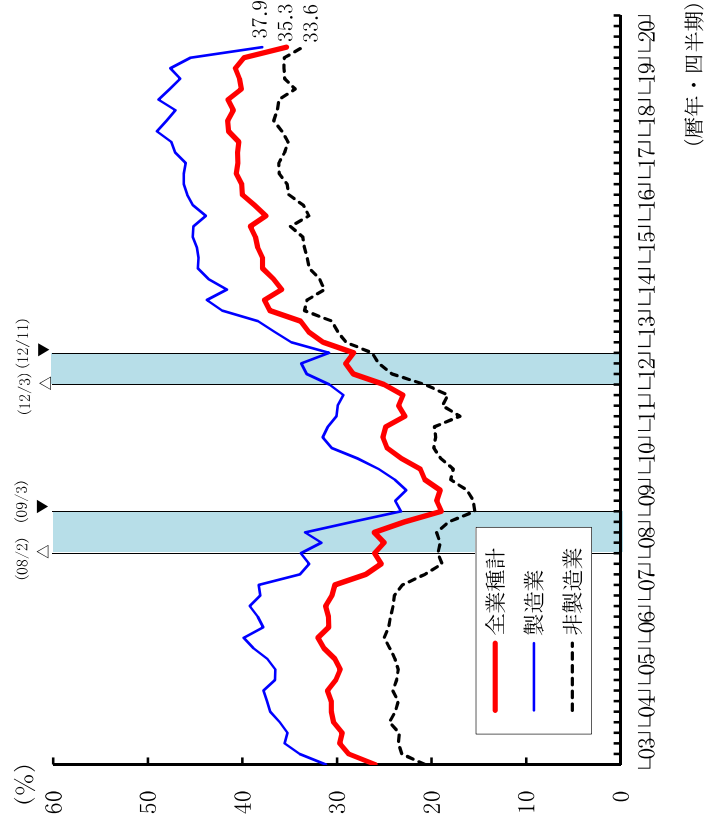
	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9
全業種計	12.8	11.7	9.7	10.1	7.1	6.5	7.5
製造業	15.2	11.8	10.0	10.9	6.3	3.6	6.4
非製造業	11.2	11.7	9.2	9.7	8.0	9.8	9.3

図一9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3
全業種計	40.1	40.3	40.8	39.8	35.3
製造業	47.7	46.6	47.6	45.5	37.9
非製造業	34.4	35.5	35.6	35.6	33.6



- (注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合ー「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。
- (暦年・四半期)



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

(暦年・四半期)

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が46.8%と最も多く、「求人難」(23.1%)、「人件費や支払利息等の増加」(5.0%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は9.5ポイント上昇し、「求人難」は5.8ポイント低下した。

図一10 経営上の問題点の推移

